

平成23年度 決算報告書

国立大学法人大分大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,091	10,016	△ 74	
施設整備費補助金	1,110	490	△ 619	(注1)
うち補正予算による追加	—	5	5	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	200	635	435	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	49	49	—	
自己収入	18,610	19,115	505	
授業料、入学料及び検定料収入	3,339	3,304	△ 35	
附属病院収入	15,057	15,570	513	(注3)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	214	240	26	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,180	1,194	13	
引当金取崩	275	286	11	
長期借入金収入	1,863	1,421	△ 441	(注5)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	190	98	△ 91	(注6)
計	33,568	33,307	△ 260	
支出				
業務費	28,357	28,290	△ 67	(注7)
教育研究経費	12,356	11,488	△ 867	
診療経費	16,001	16,802	800	
施設整備費	3,023	2,343	△ 679	(注8)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	200	631	431	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,180	1,147	△ 33	
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	808	792	△ 15	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	33,568	33,204	△ 363	
収入－支出	—	102	102	

端数処理の関係で集計額は必ずしも一致していません。

なお、予算額は百万円未満の端数を四捨五入、決算額は百万円未満の端数を切捨し表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、新病棟整備の計画変更及び図書館整備の工期延長となったため、予算額に比して決算額が619百万円少額となっています。
- (注2) 補助金については、予算段階では予定していなかった大分県等からの補助金の獲得により、予算額に比して決算額が435百万円多額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、外来患者数の増加、外来化学療法の増加、機能評価係数アップ等によるDPC請求額の増加等により予算額に比して決算額が513百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では予定していなかった図書館工事の違約金収入や教員免許更新講習の増収等のため、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。
- (注5) 長期借入金収入については、新病棟整備の計画変更を行ったことなどにより、予算額に比して決算額が441百万円少額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、一部計画の見直しを行ったため、予算額に比して決算額が91百万円少額となっています。
- (注7) 業務費については、教育研究経費は業務達成基準の適用や退職金に係る不用額の発生などにより減となり、診療経費は(注3)に示した理由に伴う人件費・医薬品・医療材料・診療機器等の増となったため、予算額に比して決算額が67百万円少額となっています。
- (注8) 長期借入金収入により平成22年度中に取得する予定であった設備が、納入遅延により平成23年度の支出となったことに伴う増のため、また、(注1)に示した理由及び(注5)に示した理由に伴う減のため、予算額に比して決算額が679百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が431百万円多額となっています。